

事務局案内

事務局は学生諸君の学修や生活を支え、安心して快適な学生生活を送っていただくために必要な事項についての業務を取り扱っています。例えば、証明書類が必要なとき、各種の届け出をしたいとき、各種の問合せや相談、さらに悩みごとや困りごとに対する対応など、何でも引き受ける強い味方です。いつでも気軽に訪ねてください。

学生証について

学生証は、諸君が国際高等専門学校^{（仮称）}の学生であることを証明するものです。常に携帯し、校舎へ入るとき、ＬＣを利用するときや、各種証明書の発行を受けるときにも必要です。本校教職員または他の関係者が必要上請求したときは、いつでも提示しなければなりません。学生証は、絶対に他人に貸与または譲渡してはなりません。

また、学生証にはICチップが内蔵されており、曲げたり、圧力を加えると破損することがあります。大切に取扱いましょう。

[学生証の交付]

第1学年始めに校長より交付されます。

[学生証の再交付について]

学生証を、盗難・紛失または汚損した時は、直ちに学級担任を経て事務局に届け出て、学生証再発行願を提出し再交付を受けてください。汚損した学生証は発行願提出時に返却してください。

なお、盗難・紛失の学生証が出てきた場合は直ちに事務局に返却してください。

[学生証の返却・無効]

学生証の有効期間は第1学年～第5学年までの5年間です。有効期間を経過したとき、卒業・退学・除籍などで本校に籍がなくなったときは、直ちに事務局に返却してください。また、学生証の記入事項を、勝手に訂正または改変したものは無効となります。

学生証を、盗難または紛失すると思いがけない迷惑をこうむることがあります。したがって、その取り扱いには常に注意してください。

各種証明書・届出書

各種証明書・届出書

| 種類 | どういうとき | 書類受取先 | 提出先 |
|---------------------|---|-------|---|
| 証明書発行願 | 在学証明書、成績証明書、卒業見込証明書、学生証（再交付）などを要するとき | 事務局 | 事務局 |
| 学生証再発行願 | 学生証を紛失したとき | 事務局 | クラス担任→学生主事→事務局 |
| 自転車通学届 | 自転車で通学したいとき | クラス担任 | クラス担任→事務局 |
| 原動機付自転車・自動二輪通学許可申請書 | 原動機付自転車・自動二輪で通学したいとき | クラス担任 | クラス担任→事務局 |
| 通学証明書 | 通学定期の学割を受けたいとき（JR・北鉄など） | 事務局 | 事務局 |
| 遅刻・早退届 | 早退・遅刻などをしたとき | 事務局 | 授業担当者（クラス担任） |
| 災害報告書 医療等の届け | 学校の管理下でけがをした時 | 事務局 | 引率者→学生主事→安全委員長→事務局 |
| 校外生活願 | 旅行やその他校外で生活したいとき | 事務局 | クラス担任→学生主事→事務局 |
| 外出延長届 | 帰寮時間を超えて外出したいとき | クラス担任 | クラス担任→学生主事→事務局 |
| 外泊届 | 寮を離れ外泊したいとき | クラス担任 | クラス担任→学生主事→事務局 ※クラス担任への申請は7日前までに行うこと ※クラス担任提出前にクラブ顧問に許可をもらうこと |
| 身上変更届 | 身上（学生本人の氏名等）が変更になったとき | 事務局 | クラス担任→事務局 |
| 住所変更届 | 保護者や学生の住所が変わったとき | 事務局 | クラス担任→事務局 |
| 保護者及び授業料支払者変更届 | 保護者・授業料支払者が変わったとき | 事務局 | クラス担任→事務局 |
| 病欠証明書 | 該当する感染症（授業について「出席停止および出席停止期間の基準」参照）にかかった時 | 事務局 | クラス担任 |
| 留学願 | 留学しようとするとき | 英語教員 | 英語教員 |
| 留学終了届 | 留学が終了したとき | 英語教員 | 英語教員 |
| 休学願 | 休学しようとするとき | クラス担任 | クラス担任 |
| 復学願 | 復学しようとするとき | クラス担任 | クラス担任 |
| 退学願 | 退学しようとするとき | クラス担任 | クラス担任 |

【手順】「学生証再発行願」の場合

学生本人が事務局へ書類を取りに行き、①クラス担任→②学生主事→③事務局の順で、承認を得て下さい。

奨学制度について

奨学制度

奨学制度は、優秀で経済的理由のため修学困難な者に学資を貸与する制度で、独立行政法人日本学生支援機構、地方公共団体、財団法人などがあります。

【独立行政法人日本学生支援機構】

独立行政法人 日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

●学力

第1学年は中学校最終学年の成績の平均が 3.5 以上の者、第2学年以上は本校での成績が学科の平均水準以上の者。

●家計

家計支持者の年収・所得金額から、規程で定められた特別控除額を差し引いた金額が、機構で定めた収入基準額以下である者。

●校長が推薦し、日本学生支援機構が採否を決定します。

●家計急変により修学困難な学生に対する緊急採用制度もあります。

【石川県】

月額 30,000 円（第4学年より 44,000 円）が次の者に貸与されます。

●（第1～3学年）保護者が石川県内に現に居住している者。

●（第4～5学年）保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住している者。

●勉強意欲があり、かつ学費の支弁が困難な者。

●独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与を受けていない者。

●校長が推薦し、石川県が採否を決定します。

奨学制度は、本人が直接手続きするところが多いです。学校の証明を必要とする時は、事務局へ申し出てください。

詳細は事務局へお尋ねください。

ICTリーダーシップアワード奨学金制度について

ICTは「誰一人取り残さない」世界の実現に向けてイノベーションにチャレンジする学生を支援します。



SDGs (Sustainable Development Goals) は、「誰一人取り残さない」という理念のもとに、国連全加盟国が合意した、世界を変えるための17の目標のことで、ICT (国際高等専門学校) では併設校KIT (金沢工業大学) と連携して、このSDGs達成に貢献するため、身近な社会課題と地球規模課題を結びつけた社会実装型の教育研究プロジェクトを推進します。この教育研究プロジェクトにおいて、卓越したリーダーシップを発揮する学生を支援するのがICTリーダーシップアワード奨学金制度です。

ICTではグローバルイノベーターの養成を目指し、4種の「ICTリーダーシップアワード奨学金制度」を設け、多様な活動においてリーダーシップを発揮し得る人材を支援します。

詳細は、特別奨学金給付規程をご参照ください。

学生の災害（ケガ）等について

独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度

独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度は、学校の管理下における学生の災害に対して必要な給付を行うことを目的とした制度で、多くの幼、小、中、高、高専が加入しています。本校でも、学生全員が加入することになっています。

【医療費の支給】

学校の管理下でケガをした場合の医療費は、各種の健康保険が70%をカバーし、残りの30%が自己負担となります。独立行政法人日本スポーツ振興センターは、この自己負担分を給付します。

すなわち、健康保険と独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度により、かかった医療費の全額をカバーできます。

【学校の管理下の範囲】

授業、部活動、休憩時間、登校・下校

【掛金】

令和4年度共済掛金額 1人当年額1,945円

【手続き】

ケガをした場合は、できるだけ早く学校（事務局）へ届け出て給付申請の手続きをとってください。なお、給付を受けるにあたってはいくつかの制限があります。詳細は事務局へお尋ねください。

学校生活について

こころの相談（カウンセリングセンター）

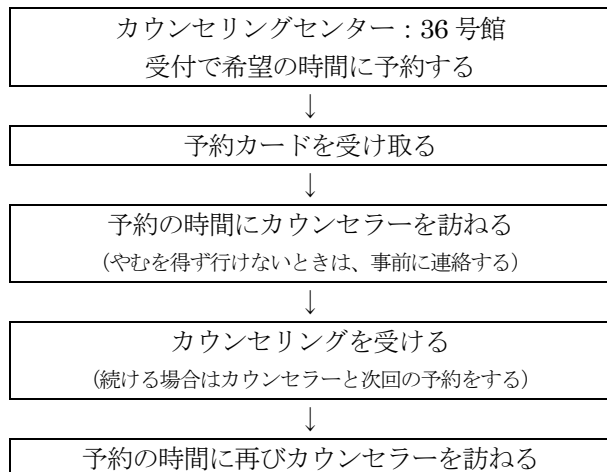
KIT カウンセリングセンター（金沢キャンパス）

本校では、みなさんが有意義な学生生活を送れるようにカウンセリングセンターを設け、学生生活をサポートしています。みなさんが日常生活を送るうえで、いろいろな悩み、不安、困ったことが生じたとき、専門のカウンセラーの先生が相談に応じてくれます。悩みだけではなく、もっとポジティブな人生を歩みたい、より充実した学生生活を送りたいといった幅広い相談にも応じています。

「こんなことを相談してもいいのだろうか」とためらわず、気軽に相談してください。相談内容については、秘密が守られています。

受付と相談は、36号館（下図参照）で行っています。必要に応じて本校校舎内での相談も可能です。

カウンセラーと話すまでの方法



■カウンセリング予約受付時間

月曜日～金曜日…12：00～17：00

※原則予約制です。

■カウンセリングを受けられる時間

月曜日～金曜日…13：00～19：00

(木曜日……………13：00～17：00)

土曜日…………… 8：30～13：00

※休祭日はお休みします。土曜日はあらかじめ休館日が決まっています。

※学園行事などにより、開館日および時間に変更になる場合があります。

※長期休業中のカウンセリング受付についてはお問い合わせください。

■カウンセリングについてのお問い合わせ

国際高専事務局 電話 076 - 248 - 1080

白山麓キャンパスでのカウンセリングについて

国際高専白山麓キャンパスには「カウンセリングセンター高専分室」があり、カウンセラーがキャンパスに来ています。カウンセリングを受けたい場合は、KIT Innovation Hub 1階の保健室（clinic）隣にある、Counseling Room にお越しください。

特別活動の「Career Design with Positive Psychology（ポジティブ心理学によるキャリアデザイン）」の内容をもっと詳しく知りたい時や、自分にもっとあったエクササイズの方法を考えたい時にも利用できます。

開室予定日やカウンセラーへの連絡の仕方などは、Counseling Room 前の掲示板をご確認ください。

相談フォームからのご相談について

相談に行く前に、カウンセラーと一度話してみたいときや、利用の方法がわからないときは、学生ポータル相談フォームからカウンセラーにご連絡ください（ただし、継続したフォーム上でのカウンセリングはできません）。また、KIT カウンセリングセンター（金沢キャンパス）の休館中は、返信ができませんのでご注意ください。

キャンパス・ハラスメントについて

教育や研究、業務における教職員や学生の不適切な発言・行動で、精神面を含めて、された側の勉学や研究に支障を生じたり、その環境を悪化させることを、「キャンパス・ハラスメント」と言います。性差別や性的嫌悪感が元になるいわゆるセクシャル・ハラスメント、教育・研究に関連して生じるアカデミック・ハラスメントと呼ばれるものもこれに含まれます。単位の認定や成績評価、あるいは研究指導、就職の斡旋などにおいて、地位を利用するなどして相手に不利益や逆に不当な利益を与える対価型と、勉学や研究開発を悪化させる発言や行動をする環境型とがあります。

【対価型】

例えば…

- 個人的な欲求から、学生の利益または不利益を感じさせるような状況で性的なことを要求する。
- 学生に、本来の範囲を超えて勉学や研究を強要したり、不必要に相手を拘束する。
- 指導に従わない学生に暴言や暴力的な行為、意図的な無視をする。
- ことさらに威圧的、権威的、威嚇的な言動（電話やメールを含む）を行う。

【環境型】

例えば…

- 学生の気持ちに反し、プライベートについての質問や発言をする。
- 学生の個人的能力や身体的機能、性的指向などへ配慮を欠いた発言をする。
- 特定の学生を傷つける発言をしたり、故意に噂を流す。
- 性の商品化を助長するような絵や写真を見せたりする。
- 教室や研究室で不必要に学生の身体に触る。
- 性的または下品な冗談を言ったり、性的な服従を迫る。

これって、キャンパスハラスメント？

ケース① 授業中に先生が、いかがわしい冗談をいった。

周囲に合わせて笑っていたとしても、内心で嫌悪している場合は、キャンパス・ハラスメントに当たります。また、「部活でメンバーが必要以上に身体に触ってくる」などの、学生同士の間で発生するケースも含まれます。

ケース② 「男は家庭を背負う立場。しっかり勉強しろ」と言われた。

学問研究や、教育の立場においての誤った観点による性差別発言や行動である、「アカデミック・ハラスメント」の典型といわれるケースです。これは男性・女性どちらからでも、また同性間であっても対象になります。

ケース③ 先生の指示に従わなかったら以後、助言してくれない。

指導に従わない学生に対しての意図的な無視や暴言もハラスメントにあたります。学生にことさら威圧的、権威的な言動をとったり、暴力的な行為、相手の人格もしくは身体を傷つける行為に至るケースも含まれます。

ケース④ 私生活のことをしつこく尋ねられた。

相手の意に反し、もしくは同意なしにプライバシーについての質問や発言をする。一見、気づきにくい例かもしれませんが、これもハラスメントになります。特定の相手を誹謗・中傷したり、風評を流すことも含んでいます。

ひとりで悩まないこと。それが解決の近道です。

もしあなたが、学生生活を送るうえで、誰かの言動を「ハラスメントだ」と感じたら、その気持ちを言葉と態度ではっきり伝えてください。そして「ノー」と言えなくても、決してひとりで悩みを抱え込まないでください。国際高専には専属のカウンセラーがいます。あなたの悩みを親身に聞き、解決するための方法を一緒に考えていきます。

あなたが安心して学べる環境をつくるために。

自分ひとりで相談するのは不安。そんな時は親しい友人といっしょに相談しても、第三者や代理人でも大丈夫です。相談員はあなたのプライバシーをしっかりと守り、相談員以外への情報提供が必要な場合は、必ずあなたの承諾を得たうえでそれを行います。相談だけで解決しない場合は、必要な調停や措置を取り、安心して学べる環境を取り戻します。

ハラスメントについての相談は下記へお越し下さい。

金沢キャンパス : 1階 事務局

白山麓キャンパス : 1階 事務室

個人情報の保護について

情報通信技術の著しい発展は、社会一般に急速なインターネットの普及をもたらし、新たな技術や知の創造に大きく貢献しています。社会は、情報を基盤とした高度情報化が進み、大量の情報の流通と瞬時の処理が当然の事象となっています。

今般の高度情報化社会において、情報の重要性がことさらの高まりを見せるなか、特に、在学生をはじめとしてその保護者や卒業生、受験生、教職員などにかかわる個人情報を適正に取り扱うことは、本法人および本法人が設置する金沢工業大学および国際高等専門学校（以下「本学園」という。）にとって極めて重要と認識しており、それら個人情報の適切な利用と保護は当然の社会的責務と受け止めております。

については、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性に鑑み、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めることを宣言します。

1. 本学園は、個人情報の取扱いにおいて、個人情報の保護に関する法律その他関係法令を遵守します。
また、「学校法人金沢工業大学個人情報の保護に関する規則」「学校法人金沢工業大学情報セキュリティ・ポリシー」を定め、これを、本学園すべての教職員及び関係者に周知徹底して遵守し、継続的な改善に努めます。
2. 本学園は、個人情報を適法かつ公正な手段によって取得します。
3. 本学園は、個人情報の取得に際し明示した利用目的に沿って、適切に個人情報を取り扱います。
4. 本学園は、個人情報を第三者との間で共同利用し、又は個人情報の取扱いを第三者に委託する場合には、当該第三者につき厳正な調査を行ったうえ、秘密保持のために適正な監督を行います。
5. 本学園は、法令等に定めるものを除き、事前に本人の同意なく個人情報を第三者に提供しません。
6. 本学園は、個人情報を安全かつ正確に管理するため、個人情報への不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適正な情報セキュリティ対策を講じ、個人情報の紛失、破壊、漏えい、改ざんなどを防止します。
7. 本学園は、本人から自己の個人情報についての開示、訂正、利用停止、削除等の要求があった場合には、速やかに対応し適正な措置を講じます。

【個人情報の取り扱いに関する問い合わせ先】

国際高専事務局

電話 076 - 248 - 1080